株主のみなさまへ

第91期中間のご報告

2014年（平成26年）4月1日～2014年（平成26年）9月30日

Contents

株主のみなさまへ…… 1
特集 …… 3
事業別概況・地域別概況 …… 5
連結財務諸表（要旨）…… 7
TOPICS…… 9
会社概要／株式情報…… 10

PACIFIC 太平洋工業株式会社

証券コード：7250

株主のみなさまへ

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、第91期中間期（第2四半期連結累計期間：2014年4月1日～2014年9月30日）における営業の概況についてご報告申し上げます。

2014年11月

代表取締役社長　小川信也

当中間期の概況

当第２四半期連結累計期間(2014年４月１日～2014年９月30日)におけるわが国経済は、政府と日銀による経済・金融政策を背景に、緩やかな回復基調にあるものの、夏季の天候不順や、輸入原材料価格の上昇等がみられ、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動からの持ち直しは力強さを欠く状況となっています。一方、海外では、米国は堅調な景気を維持、中国は７％台の成長率を持続する中、地政学的なリスクの高まりや一部の新興国の景気減速がみられ、世界の景気は不透明感を払拭しきれない状況で推移しました。

当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界におきましては、主要顧客の自動車生産台数は、日本では前年同期を下回りましたが、米国や中国では前年同期を上回りました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は476億40百万円(前年同期比7.5％増)、営業利益は28億89百万円(前年同期比2.2％増)、経常利益は35億32百万円(前年同期

比0.3％減)、四半期純利益は24億64百万円(前年同期比8.6％増)となりました。

また、第1四半期連結会計期間より、当社および国内連結子会社は、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法を、主として採用していた定率法から定額法へ変更しており、従来の方法と比べて、減価償却費が3億円減少しました。

当期の中間配当金につきましては、当期の業績を勘案し、前年同期より1円増配の1株あたり8円とさせていただきました。期末配当金につきましても、1株につき8円、年間では、昨年同様16円を予定しております。

今後の見通し

当下半期の自動車関連業界は、上期に引き続き、米国・中国での売上が堅調に推移すると見込まれるものの、円安に伴う原料価格やエネルギーコスト上昇などが懸念されます。また、新興国市場の成長に伴う自動車の小型化・低価格化や、車両の構造変化・部品の標準化・共通化が進み、グローバル競争はますます激化することが予想されます。

こうした状況の下、当社グループは、更なる成長に向けた中期経営計画「OCEAN-18」を今秋策定しました。「トップクラスのグローカルな部品メーカー」をめざし、これまでの投資の成果を刈り取りつつ、2020年への飛躍に向け、経営基盤の強化を図ってまいります。(詳細は 3～4ページの特集参照)

中間期の業績

連結売上高 (前年同期比 7.5％増)	過去最高	476 億円
連結経常利益 (前年同期比 0.3％減)		35 億円
連結四半期純利益 (前年同期比 8.6％増)	過去最高	24 億円

通期業績予想

連結売上高	950 億円
連結経常利益	78 億円
連結当期純利益	54 億円

また、国内外の生産設備の拡充による現地化・多客化を推進し、様々なお客様のニーズにお応えしてまいります。国内では、栗原工場に新プレス工場を建設し大型プレス機を導入、海外では米国(テネシー州)・中国(常熟市)の新拠点整備を進めてまいります。

今後は新たな目標に向かい、課題に対してスピード感を持って対応してまいる所存です。株主のみなさまにおかれましては、今後も当社グループへのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

特集

新中期経営計画

「OCEAN-18」始動。

長期ビジョンの確実な実効をめざし、2018年の事業のあり方を明確にするため、中期経営計画「OCEAN-15」を「OCEAN-18」に改訂しました。

長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」

自動車産業の急激かつグローバルな構造転換、地球規模の環境問題、エネルギー問題の深刻化、企業の社会的責任の拡大、技術革新の進化など、我々を取り巻く環境は予想をはるかに越えるスピードで変化しています。こうした環境変化を大きなチャンスと捉え、創業80周年の節目を機に、2030年に迎える創業100周年に向けての一里塚として、長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」を策定し、グループの夢とミッションを明確にしました。

GLOCALとは、「GLOBAL」と「LOCAL」を組み合わせた造語です。私たちは世界(GLOBAL)を舞台に成長を図り、それぞれの地域（LOCAL）の発展に貢献したいと思っています。

長期ビジョンはCSRを経営の最重要課題と位置付け、「5つの“シンカ”」で事業構造を革新し、「融合経営」による企業価値の向上をめざしています。

5つの“シンカ”

中期経営計画「OCEAN-18」策定

長期ビジョンの実現に向けた具体的なアクションプランとして推進してきた中期経営計画「OCEAN-15」では、「トップクラスのグローカルな部品メーカー」をめざし、「技術と海外」「ものづくりは人づくり」「CSRと環境保全」をキーワードに、「守りから攻め」の経営に舵をきり、積極的な拠点展開と投資を行ってきました。

「OCEAN-15」の目標値として、連結売上高950億円、連結経常利益率6％台、海外売上高比率40％以上を掲げてまいりましたが、最終15年度を待たず計画達成の目途が立ったことから、ローリングプランとして「OCEAN-18」を策定いたしました。

「OCEAN-18」では、更に激化するグローバル競争に勝ち残るため、「5つの“シンカ”」によるアクションプランを改訂するとともに、18年度の目標値を新たに設定いたしました。

これまでの投資の成果を確実に刈り取りつつ、多客化や現地化、拠点整備など改革のスピードを加速し、将来の飛躍に向けた成長基盤を構築してまいります。

ＣＳＲのトライアングル

トップクラスのグローカルな部品メーカーをめざす

キーワード
技術と海外
ものづくりは人づくり
CSRと環境保全

深化
改善する力
QUALITY & COST IMPROVEMENT
- TPS・自工程完結のレベルを上げ、世界品質を実現
- 設備保全の強化と自働化を進め、高効率な生産性を追求
- 匠の技の継承と先端技術による“ものづくり革新”

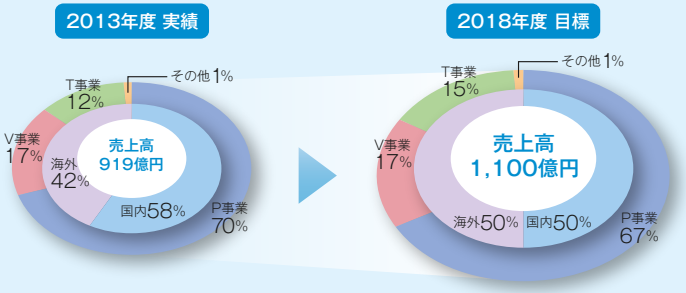
進化
革新する力
TECHNOLOGY INNOVATION
- 材料・設計・工法革新による新技術の創出
- スリム・コンパクト・フレキシブルなラインの実現
- 環境に優しい次世代製品・工法の開発

新化
新技術・事業を起こす力
BUSINESS DEVELOPMENT
- マーケティング活動による新商品・新市場の企画
- 新拠点とグローバル営業・調達・生産体制の構築
- 戦略的なM&A、アライアンスによる事業拡充

真価
企業価値を高める力
BRAND ENRICHMENT
- 財務体質を強化し、資産価値を向上
- 環境負荷を軽減し、サステナブルな社会に貢献
- 太平洋の価値観を共有し、グローカル経営を実現

信加
信頼を勝ち取る力
RESPECT & RESPONSIBILITY
- グループ全体でCSR・BCMを遂行
- 安全・安心・健康な職場づくりの実践
- チャレンジする風土づくりと人財育成の推進

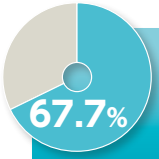
TPS…Toyota Production System　**CSR**…Corporate Social Responsibility　**BCM**…Business Continuity Management



2018年度 目標

連結売上高：	1,100億円
連結経常利益率：	8％台
海外売上高比率：	50％以上
総資産回転率：	1.05回転以上

P事業… プレス・樹脂加工　**V事業**… タイヤバルブ・空調バルブ　**T事業**… TPMS（タイヤ空気圧監視システム）

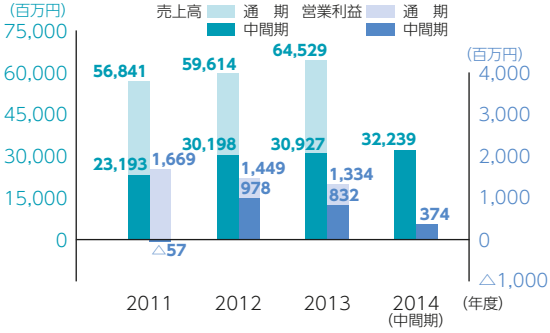


プレス・樹脂製品事業

売上高322億円　営業利益3億円

主要顧客の自動車生産台数は、日本では消費税増税の影響により前年同期を下回ったものの、米国、中国では前年同期を上回り、当事業全体の売上高は322億39百万円(前年同期比4.2%増)となりました。利益面では、原価改善の成果や減価償却費の減少等があるものの、日本での物量減少が大きく影響し、営業利益は3億74百万円(前年同期比55.0%減)となりました。

売上高・営業利益



プレス製品

フードロックフック

ハイブリッド
バッテリーケース

ラゲージヒンジ

樹脂製品

オイルパン

センターオーナメント

ホイールキャップ

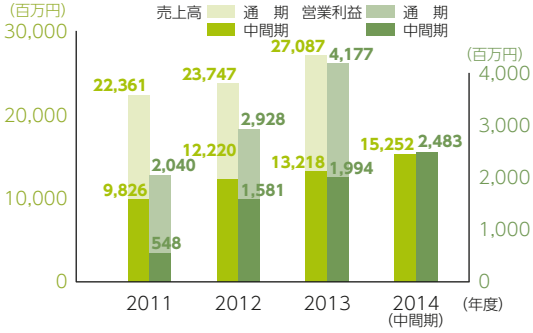
エンジンカバー

バルブ製品事業

売上高152億円　営業利益24億円

タイヤバルブ・バルブコア製品およびバルブ関連製品の販売は海外市場を中心に前年同期を上回り、TPMS製品の販売も順調に推移したことから、当事業全体の売上高は前年同期を上回り、152億52百万円(前年同期比15.4%増）となりました。利益面では、物量増加に加え、原価改善等が寄与し、営業利益は24億83百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

売上高・営業利益



タイヤバルブ製品

バルブコア

チューブレスバルブ

TPMS製品

TPMS 送信機

制御機器製品

リリーフバルブ

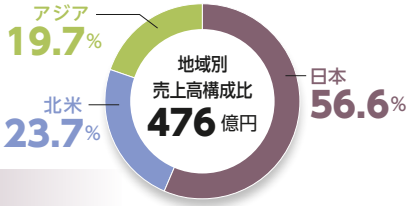
チャージバルブ

チェックバルブ

ダイカスト製品

シリンダー

地域別概況



日　本

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動に伴い主要顧客の自動車生産台数は前年同期を下回ったものの、輸出の増加や円安の影響により、売上高は269億54百万円(前年同期比0.6%増)と前年同期並みとなりました。利益面では、原価改善の成果や減価償却費の減少等があるものの、販売価格の低下や材料価格の上昇等により、営業利益は22億58百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

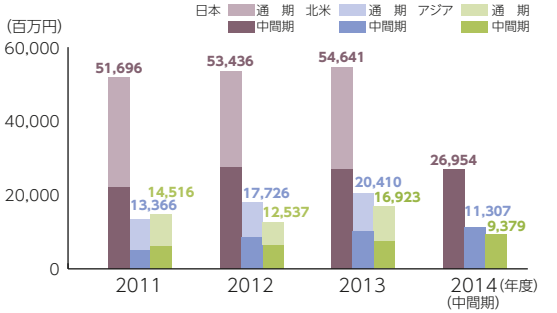
北　米

堅調な米国経済を背景に販売は順調に推移し、売上高は113億7百万円(前年同期比11.1%増)と前年同期を上回りました。利益面では、物量の増加に加え、原価改善等が寄与し、営業利益は4億89百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

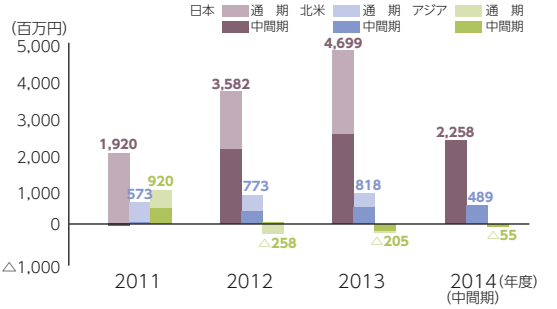
アジア

中国、台湾の主要顧客の自動車生産台数の増加や韓国でのコンプレッサー関連製品の販売増加により、売上高は93億79百万円(前年同期比27.6%増)と前年同期を大きく上回りました。営業損失は55百万円となり、前年同期の営業損失1億86百万円から収益改善に努めました。

地域別売上高



地域別営業利益



※なお、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値であります。

Topics

中国にTPMS(タイヤ空気圧監視システム)の新生産拠点を設立

2014年7月、今後のアジアにおけるTPMS市場拡大を見込み、中国の常熟市に、TPMS送信機の生産拠点となる新会社を設立しました。
これにより、日米中の三拠点生産体制を確立し、更なる需要の拡大に対応してまいります。稼働開始は2016年4月を予定しています。

太平洋汽車部件科技(常熟)有限公司
【所 在 地】中華人民共和国 江蘇省 常熟市
【事業内容】TPMS製品の製造・販売
【資 本 金】1億人民元

太平洋汽車部件科技(常熟)有限公司の完成予想図

連結財務諸表(要旨)

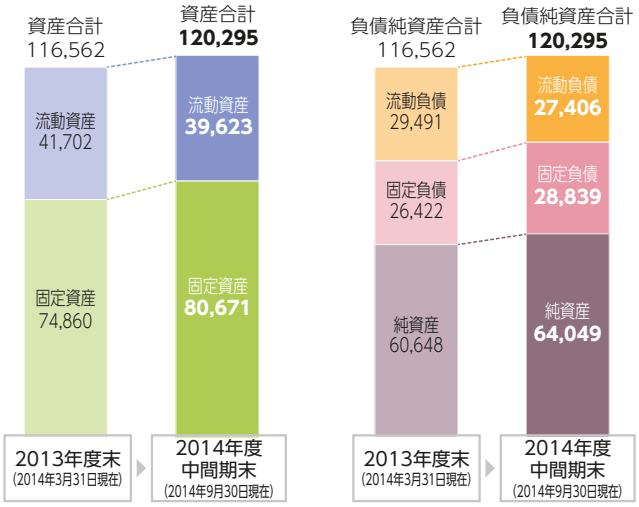
連結貸借対照表

(単位:百万円、未満切り捨て)

科　目	2013年度末	2014年度中間期末
(資産の部)		
流動資産	41,702	39,623
固定資産	74,860	80,671
有形固定資産	46,987	50,619
無形固定資産	709	712
投資その他の資産	27,163	29,339
資産合計	116,562	120,295
(負債の部)		
流動負債	29,491	27,406
固定負債	26,422	28,839
負債合計	55,914	56,245
(純資産の部)		
株主資本	46,419	48,660
その他の包括利益累計額	11,297	12,334
新株予約権	145	168
少数株主持分	2,785	2,886
純資産合計	60,648	64,049
負債純資産合計	116,562	120,295

財務の状況

(単位:百万円、未満切り捨て)



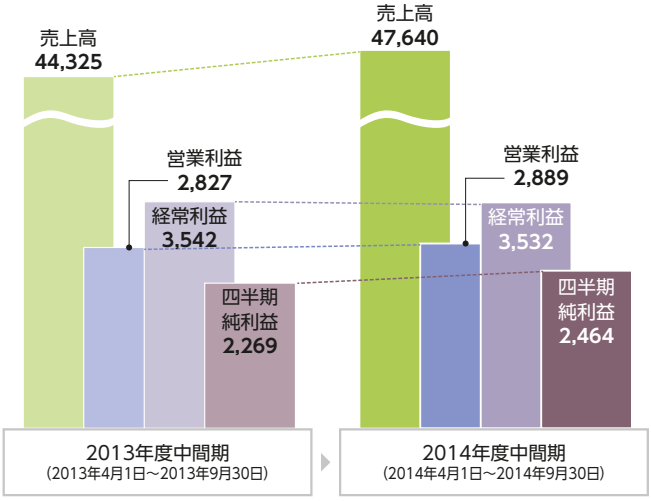
連結損益計算書

(単位:百万円、未満切り捨て)

科　目	2013年度中間期	2014年度中間期
売上高	44,325	47,640
売上原価	37,865	40,883
販売費及び一般管理費	3,632	3,868
営業利益	2,827	2,889
営業外収益	915	785
営業外費用	201	142
経常利益	3,542	3,532
特別利益	4	0
特別損失	19	18
税金等調整前四半期純利益	3,527	3,513
法人税等	1,272	1,066
少数株主損益調整前四半期純利益	2,254	2,447
少数株主損失(△)	△15	△17
四半期純利益	2,269	2,464

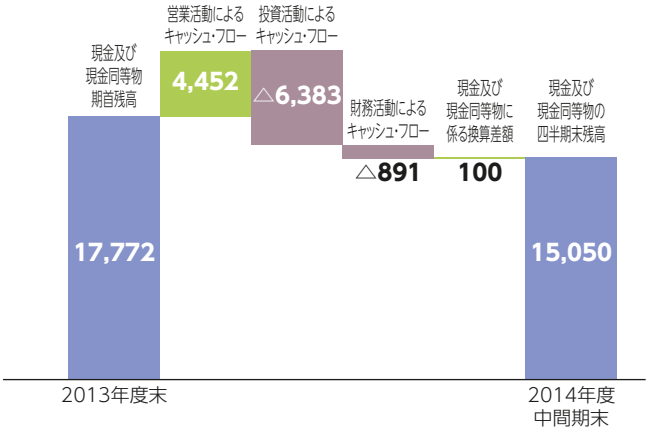
収益の状況

(単位:百万円、未満切り捨て)



連結キャッシュ・フロー

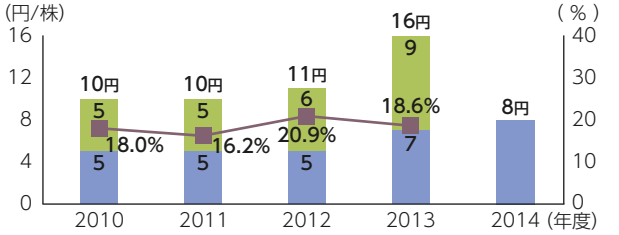
（単位：百万円、未満切り捨て）



配当還元の方針

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、安定的な配当の継続を基本に業績及び配当性向等を総合的に勘案し、剰余金の配当を行っています。2014年度中間期の**配当金は8円**とさせていただきました。

配当金の推移／連結配当性向

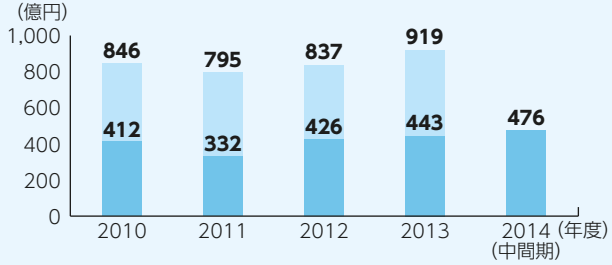


（注）2010年度の中間配当には、80周年記念配当１円が含まれております。

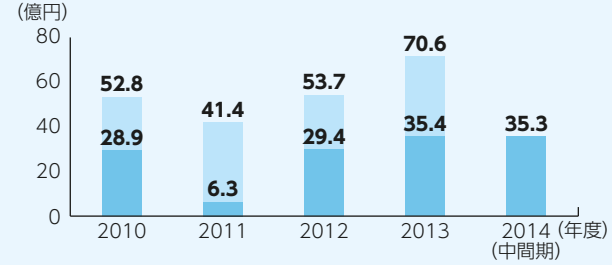
業績ハイライト

通期　中間期

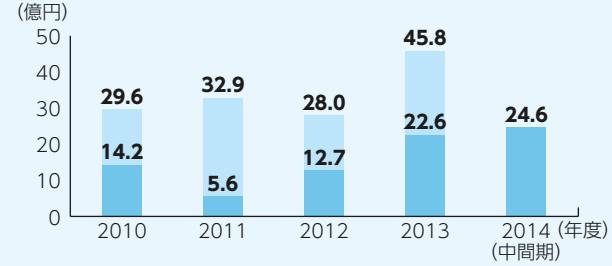
売上高



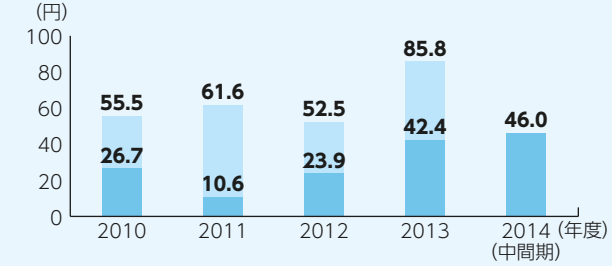
経常利益



四半期（当期）純利益



1株当たり四半期（当期）純利益



TOPICS

国内外でプレス一貫工場建設

当社グループは、グローバル競争力強化のため、国内外でプレス事業の拡充を進めています。海外では、2014年9月に中国の長沙太平洋半谷汽車部件有限公司に新プレス工場を建設、国内では、同11月に東北の栗原工場にプレス一貫工場を建設しました。また、超ハイテン材部品の加工能力増強のため、国内外で大型プレス機の導入を進めており、今後も積極的な事業拡充を図ってまいります。

長沙太平洋半谷汽車部件有限公司の新プレス工場

栗原工場の新プレス工場

米国にプレス・樹脂製品の新生産拠点を設立

グランドブレーキングセレモニー

2014年7月、北米市場における受注拡大を図るため、米国テネシー州に、自動車用プレス・樹脂製品を生産する新会社を設立しました。同8月には、現地でグランドブレーキングセレモニーを行い、工場建設を進めています。稼働開始は2015年8月を予定しています。

Pacific Manufacturing Tennessee,Inc.
【所 在 地】米国 テネシー州 ジャクソン市
【事業内容】自動車用プレス・樹脂製品の製造・販売
【資 本 金】25百万ドル

CSRレポート2014を発行

当社グループは、CSR（企業の社会的責任）を経営の最重要課題と位置づけ、CSR活動を推進しています。2014年10月に発行した「CSRレポート2014」では、当社CSRの取り組みを4つの特集を中心に、経済・社会・環境の側面から具体的にわかりやすく紹介しています。

CSRレポート2014

WEB **CSRレポートをご覧になりたい方は**

WEBサイトから 太平洋工業 CSRレポート 検 索
http://www.pacific-ind.co.jp/csr/report/

（2014年9月30日現在）

会社の概要

社　　名	太平洋工業株式会社 Pacific Industrial Co., Ltd.
本社所在地	〒503－8603 岐阜県大垣市久徳町 100 番地 TEL 0584－91－1111（大代表）
設　　立	1930 年 8 月 8 日
資 本 金	4,320 百万円
従業員数	1,660 名（連結：3,380 名）
事業内容	自動車部品、電子機器製品等の製造 ならびに販売

国内拠点　8工場

西大垣工場、東大垣工場、北大垣工場、養老工場、
美濃工場、九州工場、栗原工場、若柳工場

グループ会社

日　　本	太平洋産業株式会社
	ピーアイシステム株式会社
	太平洋開発株式会社
	太養興産株式会社
	PEC ホールディングス株式会社
台　　湾	太平洋汽門工業股份有限公司
韓　　国	太平洋バルブ工業株式会社
	太平洋エアコントロール工業株式会社
米　　国	Pacific Industries USA Inc.
	Pacific Manufacturing Ohio, Inc.
	Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.
タ　　イ	Pacific Industries（Thailand）Co., Ltd.
中　　国	太平洋工業（中国）投資有限公司
	天津太平洋汽車部件有限公司
	長沙太平洋半谷汽車部件有限公司
	太平洋汽車部件科技（常熟）有限公司
ベルギー	Pacific Industries Europe NV/SA

株式の状況

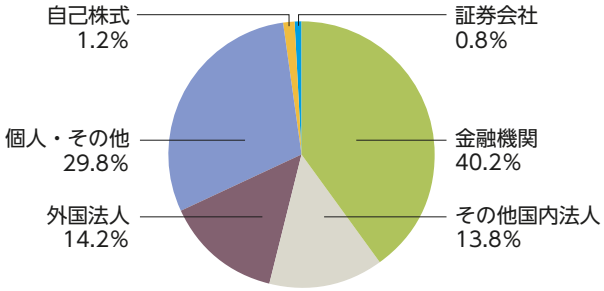
発行可能株式総数	90,000,000 株
発行済株式の総数	54,646,347 株
株主数	4,131 名

大株主（上位10名）

株　主　名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,679	4.96
株式会社大垣共立銀行	2,671	4.95
株式会社十六銀行	2,619	4.85
日本生命保険相互会社	2,359	4.37
第一生命保険株式会社	2,349	4.35
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	2,066	3.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,023	3.75
PECホールディングス株式会社	1,987	3.68
岐建株式会社	1,891	3.50
太平洋工業取引先持株会	1,794	3.33

（注）持株比率は自己株式を控除しております。

所有者別株式数分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120－232－711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第一部
単元株式数	100株
証券コード	7250
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載URL http://www.pacific-ind.co.jp/koukoku/ （ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、中部経済新聞および日本経済新聞に公告いたします。）

当社ホームページのご案内

www.pacific-ind.co.jp

当社のホームページでは、企業情報、IR・投資家情報、CSR・環境情報などさまざまな情報を掲載しております。

PACIFIC 太平洋工業株式会社

〒503－8603 岐阜県大垣市久徳町100番地
TEL 0584－91－1111（大代表）　FAX 0584－92－1804
www.pacific-ind.co.jp

発行日：2014年11月21日

UD FONT by MORISAWA
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915 www.fsc.org
VEGETABLE OIL INK
この印刷物は適切に管理された森林からの原料を含むFSC®認証紙および植物油インクを使用しています。